

岐阜県立国際園芸アカデミーによる休耕田を活用したビオトープづくり

< 岐阜県 >

1. 市町村・集落の名称	恵那市中野方町『坂折棚田』（NPO法人恵那市坂折棚田保存会） 棚田ビオトープ プロジェクト岐阜恵那
2. 協働の相手（企業や大学等）の名称	岐阜県立国際園芸アカデミー（岐阜県可児市） 岐阜県可児市塩1094-8 Tel:0574-60-5250
3. 仲介者・コーディネーターの名称	NPO法人棚田ネットワーク
4. 協働のポイント	プロジェクトの提案団体であるNPO法人棚田ネットワーク、坂折棚田の景観保全を主体的に担っているNPO法人恵那市坂折棚田保存会、ビオトープ作りのアドバイスを行う岐阜県立国際園芸アカデミーがそれぞれの目的の下、『協働』の形で事業を展開している。
5. 協働のきっかけ・経緯	H19.3 NPO法人棚田ネットワークから「かえるのビオトープ」と題し「ヤマアカガエル」の生態系の調査や休耕田（耕作放棄地）をビオトープ化することで棚田の持つ多面的機能の強化を図ることを目的として、NPO法人恵那市坂折棚田保存会が提案を受け、プロジェクトを実施する運びとなった。
6. 取組の具体的な内容	活動を通じて耕作放棄地の解消が図られたのはもとより、実際ビオトープで「ヤマアカガエル」の卵塊が確認できたなど棚田の持つ生態系保全機能の強化が図られている。 具体的な活動としては以下のような取り組みを実施。 ・耕作放棄地の復旧作業 ・ビオトープボランティアツアー（除草作業など） ・小学生ビオトープ観察会など
7. 農村地域への効果	・ビオトープ作りに携わることで、耕作放棄地を復旧しようとする機運が高まった。 ・棚田の景観保全に繋がった。
8. 都市部の主体（企業や大学等）への効果	・カリキュラムとして棚田での地域づくりを学びながらビオトープの調査・研究を行っている。 ・学生のスキルアップや実績作りに繋がっている。
9. 仲介者等の役割	・コーディネーターとして活動に必要な情報を提供し、全国に「坂折棚田」を発信している。 ・各種イベントを都市住民に情報提供し、受付などを実施している。
10. 今後の課題	・プロジェクトに対する地域の同意形成の構築。 ・各種イベントへの参加者の増大を図る。
11. 関連事業（国・都道府県等）	